東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会エンブレムの使用中止について

大会エンブレム発表以降の経過

- 7月24日 組織委員会が、大会エンブレムを発表
(ベルギーの劇場のロゴに酷似しているとの報道)
- 7月31日 発表前にIOCと国内外の商標調査を経て決定したものであり、組織委員会としては、問題ない。IOCも同じ見解とのコメント発表
- 8月5日 制作者である佐野研二郎氏が組織委員会での記者会見において、完全なオリジナルであることを主張
- 8月28日 組織委員会が、選考過程を説明
- 9月1日 組織委員会が、エンブレムの使用中止を発表

使用中止の理由

- 下記の理由により、組織委員会が大会エンブレムの使用中止を決定
 - ・デザインのオリジナル性に関する佐野氏の専門的な説明は理解するが、国民の理解を得ることは困難。継続使用によるオリンピック・パラリンピックそのものに対する国民の支援が損なわれることを懸念。
 - ・佐野氏からオリンピック・パラリンピック全体への悪影響を鑑みて原案を取り下げたいと提案を受けた。

中止に伴う都の対応

- 都として大会エンブレムの使用中止を決定、区市町村・道府県へ使用中止の旨、連絡
- 使用中止に伴う対応を決定し、各区市町村へ連絡
 - ・エンブレム制作物（ポスター、のぼり旗、印刷物等）の使用中止、適切な廃棄
 - ・招致エンブレムのピンバッジ等の暫定使用
- 庁内のポスター撤去
- 羽田・成田空港のサイン撤去
- 契約業者に対する作業中止の連絡

中止に伴う都への影響

※別紙参照

- 都と組織委員会が共催した大会エンブレム発表イベントについての経費負担 (約7,000万円)
⇒ エンブレムの使用中止に至った経緯に鑑みて、組織委員会は都に経費を請求しないことで合意
 - エンブレムを用いた制作物の作成契約 (約4,600万円) への対応
⇒ ・契約業者と交渉し、早期に作業を止めたり、エンブレムを使わずに印刷するなどの工夫した経費 約3,100万円
 - ・支出済及び既に来上がり支払を要する経費 約600万円
 - ・現在、契約業者と協議中 約900万円
- ※ 教育庁のポスターなど各局印刷物等での経費 約100万円

大会エンブレム関連の対応状況一覧（平成27年9月17日現在）

件名		負担金 (税込・単位：円)	対応
大会エンブレム発表イベント（7月24日開催）		70,000,000	組織委員会と協議。都負担なしで合意。
件名	数量	契約金額 (税込・単位：円)	対応
パラリンピックガイドの企画編集及び印刷	800,000冊	20,304,000	エンブレムを除いて作成し活用するもの または、経費負担なし
バッグ型クリアファイルの買入れ	300,000枚	9,023,400	
東京都庁第一本庁舎外2箇所の外壁装飾用サインの掲出業務委託	6枚	1,648,080	
パネル展示用素材及びパネルの印刷	1,000枚 (1セット10枚・100セット)	341,863	支出または支出予定 約600万円
ポスターの印刷（A1版）	100枚	297,000	
ポスターの印刷	20,000枚	793,800	
バックパネルの購入	1枚	42,012	
のぼり旗の買入れ	540枚	752,328	
紙袋の買入れ	4,000枚	367,200	
標識の作成および設置業務委託（空港（成田・羽田）へのサイン掲出）	16枚	864,000	
ポスターの印刷	50,000枚	1,863,000	
のぼり旗及び横断幕の買入れ	のぼり 6,000枚 横断幕 160枚	4,374,000	
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会PR ブローシャの印刷	850,000枚 *うち英語版20,000枚	2,313,360	
計		46,521,756	契約業者と協議中 約900万円

※このほか、教育庁のポスターなど、各局での支出経費（約100万円）